

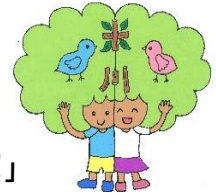
せんだん

岩国市立米川小学校だより

米川小ゆるキャラ
「せんちゃん・だんちゃん」

令和5年度 No.3 6月1日発行

米川小学校長



〈周東町全小中学校教育目標〉

「ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成」

大きな感動をありがとう!



今年は天気に関する心配を一切することがなく、少し強い日差しの中で、春季大運動会が盛大に行われました。この日を迎えるまでに、個人で、学年で、色別で、全員で、準備を怠ることなく努力を積み重ねてきました。本校のよい所は、子ども達が主体となって練習を進めていくことです。どんな練習をどんなめあてをもって進めていくのか、6年生が中心となって計画を立てます。練習の終わりにはよかったところや課題となるところについて全員で振り返り、思いを共有してきました。だから、一回一回の練習に意味があり、前回より今回、今回よりも次回へと、確実にスキルアップしながら進んでいきました。運動会は、誰かががんばったから成功するものではありません。一人ひとりの本気と、それぞれの持ち場で自分の力を最大限に発揮できるからこそ成功します。

今回は、最大の盛り上がりを見せた赤白リレーについて話をします。実は、練習ではずっと赤組が勝っていました。力的には均等で、どちらが勝ってもおかしくありません。でも、練習の勝負は赤の勝利なのです。運動会の朝、リレーアンカーになっている2人の6年生とちょうど話をする機会があり、こう伝えました。「勝負は、何が起るかわからない。だから、(赤組の子には)最後まで気を抜いてはいけない。(白組の子には)最後まであきらめてはいけない。」と。いざ勝負が始まってみると、ちょっとしたバトンパスのタイミングで、各走者のひらきが少しずつ変わっていきました。でも、最後の瞬間まで誰一人としてあきらめる者はおらず、ゴールするまで接戦となりました。そして、結果はご存じのとおり白組の勝利となりました。勝負事なので結果は必ず出ます。勝ち組があれば負け組があります。でも、あの場で見ていた観客席からは、力走を繰り広げた35人の走りに対して、惜しみない拍手が送られました。一人ひとりのがんばりは、間違いなく見ている者の心を動かしたのです。

運動会が終わり、学校はまた平常にもどります。しかし、運動会前の子ども達とは明らかに違う日常になるはずです。がんばることが周りの人に感動を与えることを知った子ども達だからこそ、気持ちの入り方が変わるはずです。私たち教職員は、キラキラした目を見せる子ども達の姿を皆様にお見せするべく、子ども達の力を信じ、最大限のサポートをしていきたいと思ひます。保護者の皆様、地域の皆様にも引き続き、子ども達の笑顔を守るために、お力添えいただきたいと思ひます。

6月・7月のおもな行事予定

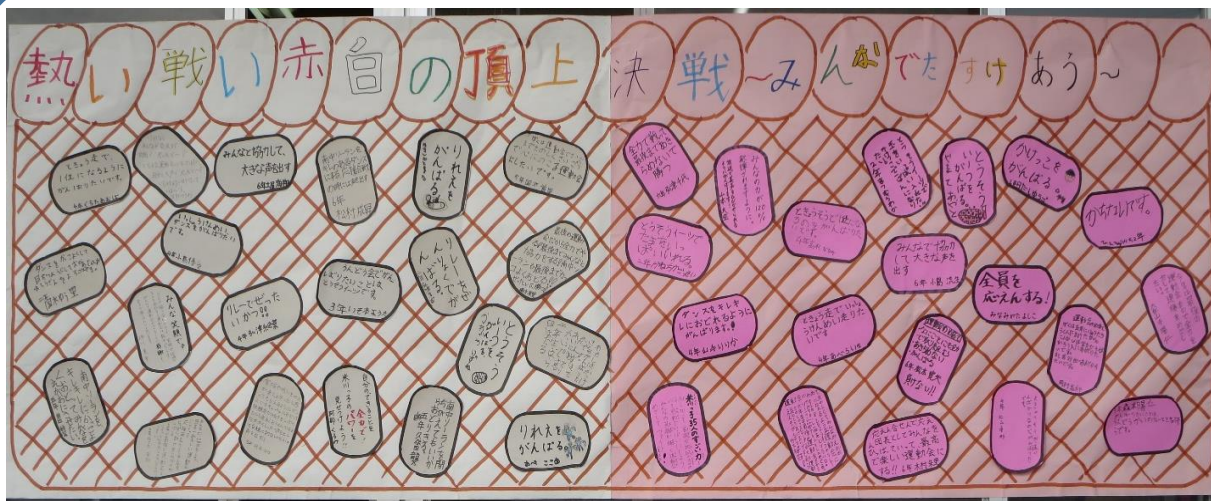
6月 1日(木)	水害対応避難訓練	7月 4日(火)	全校5校時授業 (~7/7)
8日(木)	プール清掃	18・19日	個人懇談(全員)
12日(月)	田んぼアート田植え	20日(木)	終業式、給食終了
13日(火)	5・6年合同学習	21・26日	サマースクール
14日(水)	学校公開参観日、CS会議 学校保健安全委員会	24・25日	柱島自然体験教室 (3~6年)
20日(火)	プール開き	26日(水)	6年音楽鑑賞会

練習の様子



練習後の石拾い

運動会の目標



運動会を支える人たち



ここでは紹介きれないほど、たくさんの協力をいただきながら運動会は進みました。運動会前のテント準備や、終了後の後片付けまで、本当にありがとうございました。



学校だよりのご意見・ご感想は、いつでもご連絡ください。(米川小：84-0607)